



巡回展名古屋会場オープニングイベント「堂宮大工の技—唐招提寺金堂斗^{ときょう}拱を組む」(11/20開催)

撮影/畑拓

名古屋会場では今回のシンボル展示である唐招提寺金堂斗^{ときょう}拱の原寸大模型を組む様子をオープニングイベントとして公開しました。

実演していただいたのは鶴工舎の小川量市棟梁ら4名と当館の北村技能員です。

大きな木材が次々と組み合わされていく様子に来場者はみな感心していました。

CONTENTS

EXHIBITION ベルギー 木の匠の技

REPORT 北海道置戸町でワークショップ開催!

NEWS 『京都 北山杉を育てる』、映像祭で「金賞」受賞

DVD「棟梁—堂宮大工の世界—」を発売

研究紀要第22号発行のお知らせ

SEMINAR 「技と心セミナー」のご案内

匠の技と心を全国に

2010年6月から東京・札幌・神戸・名古屋と開催してきた開館25周年記念巡回展「棟梁—堂宮大工の世界—」も昨年12月をもって無事終了しました。期間中は計2万3千人以上の大変多くの方にご来場いただきました。なかでも初めて巡回展を開催した札幌会場では大好評で、「道具館に行きたかったのだけど遠くて…。今後も来て欲しい」といったコメントが寄せられたのが印象に残りました。今後も機会があれば、このような出張展示やイベントにも積極的に取り組んでいきたいと考えています。なお巡回展各会場の様子やイベントレポートを巡回展特設ホームページ (<http://dougukan.jp/toryo/>) に掲載しています。ぜひこちらもあわせてご覧ください。

EXHIBITION

ベルギー 木の匠の技

Timber-framed buildings in Belgium



ヨーロッパといえば石造建築のイメージが強いのですが、優れた木造建築とその技術も各地に遺されています。西ヨーロッパ北部ではフランスとドイツが代表的で、その両者の特徴が共存しているのがベルギーです。本展ではベルギー南部のワロン地方の建築を中心に、隣接する地域の解説も交えながら、幅広くヨーロッパの木造建築と技術を図面をはじめとして模型や道具、映像などで紹介します。

開催概要

会期は変更になることがあります。

会場：竹中大工道具館

会期：2011年3月29日(火)～5月15日(日)

主催：財団法人竹中大工道具館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館

後援：ワロン文化財機構 (IPW)、ワロン・ブリュッセル・インターナショナル (WBI)、ICOMOSワロン・ブリュッセル、フランス語共同体、ベルギー大使館

協力：ベルギー観光局ワロン・ブリュッセル、ベルギー・フランダース政府観光局

※京都工芸繊維大学美術工芸資料館での開催は2011年5月23日(月)～8月11日(木)です。



穀物取引所 (1530-1536)

ベルギー・デュルビュイ



住宅の建設風景 (1465-1470)

ベルギー王立図書館所蔵 [パネル展示予定]

記念イベント

イベントの日時・内容は変更になることがあります。

◎セミナー

ヨーロッパ大工の技

ーベルギー、フランス、ドイツの木構造についてー

講師：ダヴィッド・ウブレク (ベルギー芸術遺産協会研究員)

日時：2011年5月7日(土) 13:30～15:00

場所：神戸市教育会館

定員：先着80名 (参加費無料、申込必要)

※「ベルギー木の匠の技」展覧には別途入館料が必要です。

※セミナー内容、申し込み方法は「技と心」セミナーページをご参照下さい。

※実演・体験教室「ヨーロッパ大工の技」の詳細は決まり次第ホームページにてお知らせいたします。

◎実演・体験教室

ヨーロッパ大工の技

講師：調整中

日時：2011年4月中旬予定

場所：竹中大工道具館特設会場

定員：適宜 (参加費無料、申込不要、入館料は別途必要)

ベルギー大工の技

講師：セップ・グーイェンス (大工)

日時：2011年5月3日(火)～8日(日) 13:30～15:00

場所：竹中大工道具館特設会場

定員：適宜 (参加費無料、申込不要、入館料は別途必要)

REPORT

I 北海道置戸町でワークショップ開催!

2010年7月29日、30日の二日間にわたり、巡回展札幌会場開催を記念して、北海道常呂郡置戸町にあるオケクラフトセンター森林工芸館にてワークショップを開催しました。

初日は大人の方を対象に、大工道具の歴史とものづくりの心、社寺建築や堂宮大工の仕事についての講演と鉋削り体験を、二日目は、小学校高学年のお子さんを対象にマガジンラックづくりを行いました。

木工工芸品が盛んな置戸町ですが、堂宮大工の仕事にはあまりなじみがないとのことと、参加された皆さんからは「実際に見ると技のすごさに感動した」「ものづくりの心と原点を改めて思い起こされるお話だった」などの声が寄せられました。



NEWS

I 『京都 北山杉を育てる』、映像祭で「金賞」受賞

林業を営む長澤春夫氏他出演の『京都 北山杉を育てる』(2006年制作)が、第1回「森林環境教育映像祭」(同実行委員会主催、林野庁他後援)で長編部門最高賞の「金賞」を受賞しました。8月27日(金)、東京農業大学において受賞作品の上映会と授賞式が行われ、長編・短編それぞれ「金」「銀」「銅」受賞の6団体を代表して、当館渡邊学芸部長が、受賞の喜びとお礼のあいさつを行いました。「ナタ、カマ、鋸など、わずかな手道具を用いて、苗木から35年を経た成木を伐り、木馬きんまで運搬する全工程を記録し、近代化以前の技を映像で残した」ことが評価されたものです。



I 研究紀要第22号発行のお知らせ

当館スタッフならびに館外の研究者による大工道具・建築技術に関する論文集です。今回は下記の2編の掲載を予定しています。(3月21日発行予定)

竹中大工道具館 研究紀要第22号 (A4版・500円)

[小池誠・佐藤浩司・西山マルセーロ]
インドネシア・スンバの家づくり
一ウガ村慣習家屋再建プロジェクト報告

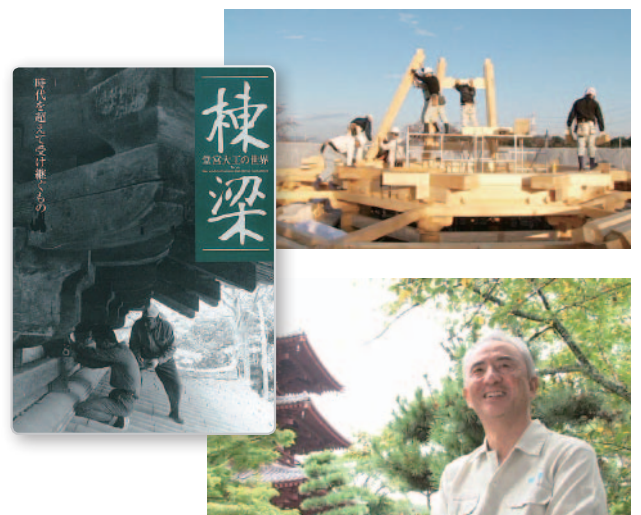
[下田一太・チャンピタロン・坂本忠規・中川武]
カンボジアの大工道具と伝統木造家屋
一コンボン・チャム州とバタン・バン州における調査報告



I DVD「棟梁一堂宮大工の世界」を発売

この度、開館25周年記念巡回展にあわせて制作したDVD「棟梁一堂宮大工の世界」を発売いたしました。

内容は、現代を代表する堂宮大工・小川三夫棟梁と大工集団いかるがこうしゃ・鶴工舎の活動を記録したものです。2009年から10年にかけて、建築中であった天岑寺八角堂てんしんじ(埼玉県狭山市)と栃木の鶴工舎作業所で行いました。また法輪寺三重塔の前で行った小川棟梁のインタビューも収録しています。



商品概要

品名	竹中大工道具館ビデオライブラリーDVDシリーズ 01 DVD「棟梁一堂宮大工の世界」		
収録時間	22分44秒	価格	1,800円
仕様	片面1層 16:9LB ステレオトルケース 解説シート入り		

※竹中大工道具館受付にて販売しています。通信販売を希望される場合は、送料180円が必要となりますので道具館事務局までお問い合わせ下さい。

SEMINAR

「技と心セミナー」のご案内

大工道具と建築技術の専門家ならびに当館スタッフが最新の研究成果や知見をご紹介しますセミナーのご案内です。

参加費 無料(入館料は別途必要)

開催時間 13:30~15:00 (13:00開場)

会場 竹中大工道具館

※セミナー[47]のみ神戸市教育会館

セミナー参加申込み方法

ホームページから申込み

当館HP (<http://dougukan.jp>)「技と心」セミナーページの申込みフォームをご利用下さい。

▶ホームページからはご本人様ならびに同伴者1名に限らせていただきます。

▶携帯メールアドレスはご使用になれません。

往復ハガキで申込み

[往信]

①セミナー番号②お名前(フリガナ) ※参加者全員

③郵便番号・住所④電話番号

[返信]

あて先にご自身(代表者)の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。裏面は未記入のこと。往復ハガキ1枚につき、4名までお申込みいただけます。

▶応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

▶入場案内ハガキ・メールは締切日以降に発送いたします。

▶締切日以降は電話にてお問い合わせください。

[お申込み先]

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-18-25

竹中大工道具館「技と心」セミナー係

[46] 2011年3月26日(土)(締切 2011年3月11日)

アンコール遺跡を修復する

講師:下田 一太(日本国政府アンコール遺跡救済チーム技術顧問)

ミスター世界遺産と呼ばれるほどに、雄大な建築美と繊細な彫刻装飾を誇る古代帝国の王都「アンコール遺跡群」。近年この遺跡群では多数の国や組織が修復活動や研究事業に取り組んでいます。同じ遺跡を対象としながらも、各国の文化的な背景の違いによってその遺跡保存に対する〈技術や理念〉は多様です。日本ならではの〈技と心〉がアンコール遺跡の修復を通じてどのように表現され、新たな価値を生み出しているのか考えてみたいと思います。

[47] 2011年5月7日(土)(締切2011年4月22日)

ヨーロッパ大工の技

ーベルギー、フランス、ドイツの木構造についてー

講師:ダヴィッド・ウブレク(ベルギー芸術遺産協会研究員)

ベルギー南部のワロン地区は、西ヨーロッパでは稀に伝統的な木造建築が遺る地域です。この地域はフランス系の大工技術が主体ですが、一方でドイツの影響も見られます。ここではベルギー・フランス・ドイツの木造技術を紹介し、それらを日本の木造技術と比べてみることで、日本とヨーロッパの木の素性を活かす考え方の違いや共通性などを探ってみたいと思います。

[48] 2011年7月16日(土)(締切 2011年7月1日)

古代東アジアの木塔について

講師:箱崎和久(奈良文化財研究所 遺構研究室長)

日本・韓国・中国で8世紀まで遡る木塔(五重塔・三重塔)が現存するのは日本だけです。しかし木塔の遺跡は韓国にたくさん残っており、慶州の皇龍寺には九重塔跡があります。また北朝鮮には平面八角形の木塔が発掘されています。これらの古代の木塔について、一般的な規模の場合、七重塔や九重塔といった高層の場合、八角塔の場合などにわけて、その建築構造や建築技法を考えてみたいと思います。

ACCESS 来館のご案内

開館時間 9:30~16:30 (入場は16:00まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月26日~1月7日)

入館料

	個人	団体
一般	300円	250円
大・高生	200円	150円
小・中生	100円	50円
障がい者手帳をお持ちの方及び付添者1名	無料	
65歳以上の方	100円	

※団体は20名以上 ※その他各種割引あり

交通案内

▶JR・阪急・阪神「三宮駅」徒歩18分

▶JR・阪神「元町駅」徒歩10分

▶地下鉄「県庁前駅」徒歩5分

▶新幹線「新神戸駅」タクシー10分

駐車場4台(普通車)あります。

連絡先

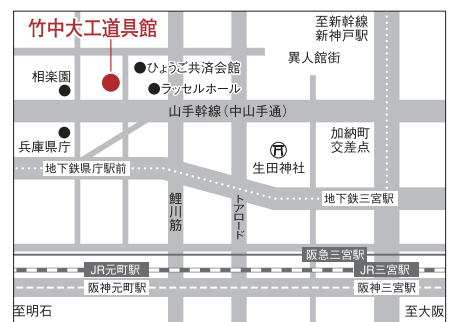
〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-18-25

TEL 078-242-0216

FAX 078-241-4713

URL <http://dougukan.jp>



※企画展・イベントなどの日程は変更になることがあります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。※本誌のお届け先の変更・追加および送付停止については電話・FAX・メールにてお知らせ下さい

本誌の無断転写・転載・複製は禁じます。 ©2010 Takenaka Carpentry Tools Museum

竹中大工道具館NEWS第24号

2011年1月20日発行

編集・発行:財団法人竹中大工道具館

印刷:神戸新聞総合印刷

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM



財団法人 竹中大工道具館